

領域開拓プログラム(公募型研究テーマ)

◆課題(研究領域):「情報メディア発展のもとでの新しい地域研究」

◆研究テーマ:「新たな華語情報環境のもとでの中国研究が示唆する次世代型地域研究」

研究期間:H26.10~H29.9

委託費総額:11,750千円

<研究代表者>

鈴木賢:北海道大学大学院法学研究科/教授



<専門分野>

比較法・中国法・台湾法

<Webページ>

<http://lex.juris.hokudai.ac.jp/~suzuki/index.html>

<研究目的・概要>

- ・従来の地域研究は、当該地方で発行された現地語文献、現地での聞き取り、観察が主要な情報源であったが、グローバル化の進展と情報通信技術の発展により、大きな変容が生じている。
- ・とりわけ華語メディアは、中国国内・外から世界へ向けて大量に発信されており、英語につぐスケールで勃興している。将来の中国研究は、こうした華語情報の越境時代に即応した新たな枠組みが求められている。

急激な情報環境の変容が、中国・大中華・華人研究にいかなる対応を迫っているかを、法学、メディア研究、政治社会の3分野に即して整理。内外の華語情報の収集・分析、中国及び欧米各国の越境華語メディアの現場での聞き取り調査を行い、以下の3点を明らかにする。

1. 国家主導による情報環境の統制とその変容のありよう
2. メディアの産業化およびネット世論の形成の現状
3. 国境を越えてグローバルに広がる華語メディアの展開と大中華メディア空間の誕生

新たな情報環境のもとでのグローバルな越境情報をいかに地域研究一般に活用し、現地情報との協働を図るかについてのモデルを提示。中国語情報を通じたグローバル人材育成の拠点形成に寄与する。

<研究計画の特徴>

法 学 班

メディア研究班

政治社会班

研究の三本柱

1. 国家主導による情報環境の統制とその変容のありよう
2. メディアの産業化およびネット世論の形成の現状
3. 国境を越えてグローバルに広がる華語メディアの展開と大中華メディア空間の誕生

ヒヤリング、意見交換

越境華語メディア
中国国内/中国国外

中国籍知識人
(欧米在住)

協力研究機関

中国社会科学院新聞与傳播研究所/香港大学新聞及傳媒研究中心/台湾中央研究院社会学研究所/韓国漢陽大学校大学院/英国シェフィールド大学東アジア研究所

成果公表 中国語による知の拠点の形成

論文発表・報告
シンポジウム開催

中国研究入門者のためのサイト構築

グローバル華語
情報プラットフォーム構築

<目標とする研究成果>

中国語による知の拠点の形成を日本発で行う条件を整備する

(1)「グローバル華語情報プラットフォーム」の確立

汎用性のある華語情報ポータルサイト「グローバル華語情報プラットフォーム」(簡体字版、繁体字版)を確立し、新たな情報環境のもとでの研究情報共有の場を構築する。

(2) 日本の中国研究入門者のためのサイトを構築

華語情報へのアクセスのための基本的なインフラストラクチャーとも言うべきサイトを構築し、新しい世代の中国・中華研究者を育成する基盤を整備する。